新　刊

□森　茂弥・城川四郎・勝山輝男・高橋秀男：**スミレもタンポポもなぜこんなにたくましいのか　人に踏まれて強くなる雑草学入門.** PHP研究所. 213 pp. 1993. ¥1,200.

神奈川県植物誌（1988）は新たに収集した膨大な標本に基づき，県のアマチュアと専門家を総動員した詳細な記述と分布図を含む，県植物誌の傑作として後世に残る作品であるが，その作者の一人であり1991年に病没された森氏の遺稿を元に，三人が補筆編集したものである．雑草というと帰化植物がほとんどだから，その入門書と言ってもよい．雑草とはどんな植物：超高層ビル街に生える雑草：家の近くが好きな人里植物：有用植物も多いイネ科の雑草：旺盛な生命力の帰化植物：食べられる雑草，の6章より成る．植物誌成作の体験で養われた鋭い観察眼が，植物の微妙な特性を記述している．キキョウソウの閉鎖花のこと，ハキダメギクの舌状花の三つの切れ込みのこと，ジュズダマとハトムギの葉のにおいの違いのこと等々，雑草の入門書と言うよりは植物観察のヒント集と言ってよかろう．読む人がこれをまねて，観察と言うと名前を知れば終わりという通弊から抜け出してほしいものだ．（金井弘夫）

□田中　肇：**花生態学入門・花にひめられたなぞを解くために** 174 pp. 1993. 農村文化社. ¥3,000.

花粉がおしべからめしべへ運ばれる送粉機構についての，わが国はじめての教科書である．べつに堅苦しいものではなく，独学の著者の三十余年にわたる観察を整理し，見事なカラー写真を豊富に使ってわかり易く書かれている．写真にはすべて撮影年月が付記されており，旧いものは1973年にさかのぼる．第一章動物媒花，第二章風媒花・水媒花，第三章同花受粉花，第四章花の性，終章植物群落と受粉より成り，第一章が全体の約半分を占める．材料はすべてそこらに見られる植物ばかりだが，その花の形，色，姿勢，行動などがどんな役割を持ち，どんな目的を持つかが，執拗な観察に基づいて解き明かされている．オオイヌノフグリの花柄の細さが送粉昆虫の選別に役立つ，などということは，永い観察の積み重ねがなければ思い至らないだろう．こういう観察はただよく見るだけでは足りず，一箇所に夜明けから日暮れまで座り込んで虫の来るのを待つというような，おそろしく根気のいる作業が必要である．写真にしてもこれだけ鮮明な一駒を得るには，何巻もの失敗作があるに違いない．それでも植物の生活史の重要な一面である送粉機構については，本書に記されたことはまだほんの一部に過ぎず，今後の多くの人の目によって解明されるべき問題が隠されている．専門家愛好家を問わず，植物に関心のある方には是非とも読んでもらいたい．それによってこれ迄と違った植物の見方や考え方があることに気付くだろう．種子の散布機構や芽生えの行動などにも同様な問題があるのだが，集中し取り組む人がいない．短期にまとまった業績を要求される昨今の研究環境では，こういう仕事は割りが合わない．だから学界の趨勢などを気にせずにやれる，アマチュアの活躍の場が広い．本書によってこういう観察に取り組む人がふえることを期待する．（金井弘夫）

□TBQ ed.: **Temperate Bamboo Quarterly Vol. 1** March 1993. アメリカでササ類を対象とした雑誌が発行された．分類などの基本的なことから，人の生活との関連，その利用等，ササに関係する様々なことを載せるのを目的として発刊されたものである．日本はアメリカと共にササの宝庫で，その分類の確立や，利用の開発がのぞまれる．珍しい試みなので将来の発展を期待したい．年会費$25. 住所：TBQ 30 Myers Rd., Summertown, Tenn. 38483–9768, USA.（山崎　敬）

□しだとこけ談話会：**しだとこけ　服部新佐先生追悼記念号.** 129 pp. 1993. ¥3,000＋送料¥310.

13件の追悼記念報文のほか，1992年5月12日亡くなられた服部新佐氏の思い出が16人によって語られている．服部氏が宮崎県飫肥町に研究所をつくり，これを蘚苔類の世界的な研究機関に育てあげたことはよく知られているが，その背景には私財を投じた運営ばかりでなく，専攻者アマチュアを問わず，誰にでもへだてなく研究協力を